

お知らせ

■お詫び「JBN ホームページの更新について」

先月号本欄で「7月1日(月)より本誌との情報連携、相互の機能補完と強化をはかり、会員向け、関係機関、社会一般への情報の発信をより一層迅速かつ適切に行うようにしてまいります」とご案内しましたが、セキュリティ上の問題などが発生し、急遽対策を講じることになりました。ご迷惑をおかけしますが、いましばらく旧ホームページのまま継続いたします。どうかご了承下さい。

■ジャパンホームショー 2013 10月23日(水)～25日(金)

会場:東京ビッグサイト 東ホール  
 今年は「第1回スマートハウス・エコハウス展」との合同開催となります。  
 ・JBN展示ゾーン 昨年同様の規模で出展します。  
 ・協会員コーナー(30ブース)の出展募集中。  
 ・JBN全国大会in広島-でも、同様の出展を予定。  
 ・今回のJBNセミナーでは「中大規模木造建築」「省エネ・エコ」「中古住宅流通」の3テーマでの開催を予定しています。  
 昨年の会場の様子がhttp://www.facebook.com/JHBS.Plazaでご覧になれます。

■中大規模木造建築物の施工事例募集

JBNでは住宅・リフォームに次ぐ第三の市場として中大規模木造建築物への取組みを強化しています。平成24年度の研究成果(本誌No.44で紹介)を中心に、全国各地でJBN会員が手がけた事例や技術を集大成し、JBN会員が営業に使えるパンフレットの制作を進めています。9月刊行、10月ジャパンホームショーで配布、11月広島大会での討議資料とする予定です。会員各位の施工事例を募集しています。問い合わせ先:JBN事務局 島田

■講習会・セミナー・見学会

●JBN認定品質住宅検査員講習会(JIO・住宅保証機構・ハウスプラス)  
 JBNは、瑕疵保険法人各社から認定団体として認定され、瑕疵保険料金の割引など有利な条件が適用されるJBN認定品質住宅制度があります。この制度を利用するには、各社ごとに検査員(JBNインスペクター)講習会を受講する必要があります。

下記の日程で、JIO・住宅保証機構・ハウスプラスの統合検査員講習会を開催します。本講習により3法人の瑕疵保険割引が利用できますが、各保険法人への事業者登録が必要です。

日程 会場  
 8月7日(水) 香川/香川県教育会館 ミューズホール 第1・2会議室  
 8月9日(金) 福岡/福岡国際会議場 会議室414  
 講師:JBN職員・JIO・ハウスプラス 定員:各会場50名  
 受講料:1名10,000円、他にJBNインスペクターカード発行料3,000円(初回時のみ)  
 受講対象者:JBN会員企業に所属する建築士資格保有者  
 主催:(一社)JBN 問い合わせ先:JBN事務局 坂口・島田・永山

■講習会開催予定

○「フラット35対応・木造住宅工事仕様書」講習会  
 低炭素住宅認定制度の追記改訂後に開催の予定  
 開催予定地:東京

○「住宅ローンの基礎知識とリフォーム営業工務店向け研修会」  
 開催予定地:東京・愛知・大阪・福岡 講師:㈱住宅あんしん保証担当者  
 主催:(一社)JBN 共催:㈱住宅あんしん保証

○「増改築相談員研修会(新規・更新)」  
 (公財)住宅リフォーム・紛争処理支援センターによる所定のカリキュラムの研修会  
 受講と審査により資格取得可  
 開催予定地:全国数ヶ所(予定) 講師:増改築相談員指導員資格所持者(JBN会員)  
 主催:(一社)JBN 共催:JBN連携団体

○「移住・住みかえ支援機構住宅講習会(HLP取得講習会)」  
 移住・住みかえ適合住宅の申請に必要なHLP資格取得講習会  
 開催予定地:東京・大阪(予定) 講師:(一社)移住・住みかえ支援機構講師  
 主催:(一社)JBN 共催:(一社)移住・住みかえ支援機構

○「木造軸組工法による省令準耐火構造JBN仕様利用認定講習会」  
 住宅金融支援機構承認JBN仕様・利用講習会  
 開催地:全国数ヶ所(予定) 講師:JBN認定講師(JBN会員) 主催:(一社)JBN

■建築行政情報センター(ICBA)の情報サービス

JBN会員はICBA情報会員サービス(建築基準法データベースの閲覧、確認申請書作成プログラムの作成・サポートなど)を割引価格で利用できます。詳しくは、http://www.icba.or.jp/

●発行/お問い合わせ  
 一般社団法人 JBNサポートセンター  
 〒104-0032 東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館6階  
 TEL.03-5540-6678 FAX.03-5540-6679  
 E-mail : jbn@jbn-support.jp homepage : http://www.jbn-support.jp  
 発行人:藤澤好一 ©工務店サポートセンター 禁無断転載



FSC® 森林認証紙と植物油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」を採用しました。

刊行物のご案内

■新しい刊行物

●「木造建築士資格研修テキスト」平成25年度版  
 「地域型住宅ブランド化」の信頼できる担い手に木造建築士  
 平成25年度の資格試験にあわせて改訂増補しました。JBNサポートセンター編、藤澤好一監修、2013年2月20日配本、定価3,800円(消費税込)、発行:井上書院

●「性能向上リフォームで生まれ変わる家」  
 消費者向けのパンフレットが出来ました。  
 先に刊行された「既存住宅の性能向上リフォーム・耐震・断熱で生まれ変わる家」から、消費者向けに性能向上リフォームをすすめる上でのポイントと施工事例を判りやすく、順序だてて説明しています。営業ツールとして、内部研修資料としてご利用下さい。

A4中折6ページ・カラー、セット単位でお申し込み下さい。  
 会員頒価 1セット(20部)、2,500円(税・送料共)

●「既存住宅の性能向上リフォーム・耐震・断熱で生まれ変わる家」  
 既存住宅の性能向上リフォーム研修会用テキスト  
 国土交通省・平成24年度補助事業「木造住宅等の施工能力向上継承事業」既存住宅の性能向上リフォーム」により地域工務店ならではの事例にもとづく実務書が刊行されました。

構成 ①性能向上リフォームのすすめ ②北海道発の性能向上リフォームに学ぶ ③事例に学ぶ性能向上リフォーム ④参考情報  
 刊行2013年2月・A4・69ページ、監修 JBNサポートセンター

●「木造軸組工法による省令準耐火構造の住宅(第2版)」  
 旧版に新たな実験結果に基づき室内真壁造における梁・柱の4面頭しに関する機構承認仕様を追加しました。あわせて、住宅金融支援機構監修「木造住宅工事仕様書・19-省令準耐火構造の住宅の仕様」に則った構成に改めました。  
 刊行2012年9月、A4・118ページ

○「工務店サポートセンター仕様/概要一覧表・特記仕様書・設計施工チェックシートも改訂しました。」  
 ●長期優良住宅壁量計算の実務(耐震等級2の解説と演習)  
 長期優良住宅壁量計算の実務研修会用テキスト、刊行2012年11月、A4・75ページ

●木造住宅の構造計画 長期優良住宅の設計マニュアル  
 長期優良住宅のプランニングセミナー用テキスト、刊行2012年11月、A4・130ページ

●JBN長期優良住宅(申請マニュアル)  
 長期優良住宅のプランニングセミナー用テキスト、刊行2012年11月、A4・162ページ

●住宅改修の工事記録写真・撮影・保管の実務  
 先に刊行した「バリアフリーから始める住まいる快適リフォーム」の副産物ともいえるものです。改修工事の経過を証明する写真の添付が求められたのですが、不適切なものも多く、工事が終わった段階では撮り直しが出来なかったという苦い経験から本書が作成されました。改修工事を対象に記録写真の撮り方のノウハウから、写真の整理・保管までを判りやすく説明した実務書です。  
 工務店サポートセンター発行、刊行2012年3月、A4・32ページ

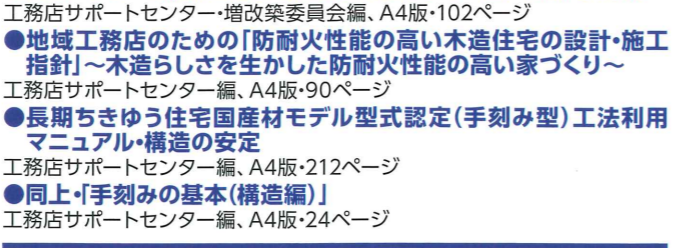
●バリアフリー改修から始める住まいる快適リフォーム 指針事例集  
 工務店サポートセンター・増改築委員会編、A4版・102ページ

●地域工務店のための「防耐火性能の高い木造住宅の設計・施工指針」～木造らしさを生かした防耐火性能の高い家づくり～  
 工務店サポートセンター編、A4版・90ページ

●長期ちきゅう住宅国産材モデル型式認定(手刻み型)工法利用マニュアル・構造の安定  
 工務店サポートセンター編、A4版・212ページ

●同上「手刻みの基本(構造編)」  
 工務店サポートセンター編、A4版・24ページ

●採用 正規職員(建築系技術職)  
 業務内容:サポートセンター(技術・研修・工務店支援)業務  
 給与:規程による。建築士資格保有者・木造住宅・工務店経験者優遇  
 年齢:30歳まで 勤務時間:9:00～18:00(月～金)  
 連絡先:事務局 坂口 ※職務経歴書及び履歴書を郵送またはメールにて送付



JBN 会員登録募集  
 全国の工務店の力を結集するための組織がJBNです。「地域から必要とされ、信頼される工務店」のためにサポートセンターがさまざまな面から支援します。

暮爺記(ぼやき)

3月号から中断していた会員数の掲載を今月号から再開した。年度替りの更新手続きにともなう会費納入の確認作業が一段落したところでの数値だ。停止前と比べると正会員が252の減、協会員は14増、連携団体は13増、となった。正会員の減は、一つは会費改定の影響だろうか。だとすれば会員サービスが会費に見合っていないという声として真摯に耳を傾け、対策を急がねばなるまい。もう一つは連携団体増と無関係とはいえない。以前の所属先が連携団体でなくなり、身の丈にあった適当な所属先が選べないまま更新の機会を逃したというケースもあったようだ。会員数の増減は、JBNの活動への評価、支持の指標といえるが、組織体制が変わろうとする時の微妙な変化へのキメ細かな対応に組織の本質が問われることになる。(F)

JBNサポートセンター・レポート  
 Japan Builders Network

■JBN会員数 正会員/2,280 協会員/122、連携団体/64  
 ■「いえもり・かるて」登録累計数/4,987件

(2013年6月末日現在)

2013.August  
 No.49

8月号

発行人:藤澤好一  
 ©工務店サポートセンター 禁無断転載

JBN全国大会in広島・テーマ「地域工務店の新たな市場展開」

11月14日(木) 15:30-17:00

福田康夫元首相を招き基調講演「200年住宅と地域工務店」

JBNは創立5周年を迎えますが、長期優良住宅普及促進法の制定と相前後して創設されました。活動の大きな柱が、地域の工務店による長期優良住宅の生産供給の支援と普及でした。先導モデル事業、地域ブランド化事業に積極的に取り組み、JBNが信条とする「地域の木で、地域の技で、地域の家」づくりのためのさまざまな条件への対応と整備を進めてきました。  
 5周年記念の大会に長期優良住宅の生みの親ともいべき福田康夫元首相をお招きして「200年住宅と地域工務店」についてご高話をいただくことになりました。

福田元首相は、総理大臣就任前の2007年5月、自由民主党住宅土地調査会会長として「200年住宅ビジョン」を提言されました。30年程度しかもたないわが国の住宅が、土地にしか価値が認められず、健全な国民資産を形成するためには長寿命で高品質の住宅が必要だ、と提言されました。総理大臣就任後は、地球環境への負荷軽減のため「大量生産、大量消費社会からの訣

11月15日(金) 9:30-12:00

分科会・テーマ「5つの新たな市場展開-地域工務店の役割と可能性」

5会場に分かれ、各テーマごとにゲスト・コメンテーターによる基調提言と関係者による討論を予定しています。JBNに設置された諸委員会の活動をふまえ、地域工務店が備えるべきノウハウ・技術、また必要とし活用すべきサ

市場展開のためテーマ (いずれも仮)	担当委員会	ゲストコメンテーター	記録(特集記事)
地域ネットワークの構築と「地域型住宅のブランド化」	次世代の会(広島) 国産材委員会	安藤直人氏(東京大学)	日刊木材新聞社
地域工務店が拓くこれからのリフォーム	既存改修委員会	今井信博氏(現代計画研究所)	日本住宅新聞社
地域工務店ならではの省エネ住宅仕様の実例を学びつくす	環境委員会	秋元孝之氏(芝浦工業大学)	創樹社(ハウジングトリビューン)
地域工務店は中大規模木造建築の市場へどう参入するか	大規模木造委員会 国産材委員会	腰原幹雄氏(東京大学)	新建ハウジング
中古住宅流通がもたらす地域工務店の新ビジネス	中古住宅流通 WG	安達功氏(日経 BP 社)	日経ホームビルダー

JBN全国大会in広島 2013/設立5周年記念大会 11月13日(水)～15日(金)

会場:グランドプリンスホテル広島 主催:一般社団法人JBN 一般社団法人広島県工務店協会

13日(水) 13:00～17:30  
 14日(木) 8:00～11:30  
 第1回 大成エキスパートJBNマスターズ  
 若年大工の育成・定着に向けたJBNならではの技能競技大会  
 13:00～15:00  
 第5回 JBN全国大会  
 テーマ「地域工務店の新たな市場展開」  
 15:30～17:00  
 ◎基調講演「200年住宅と地域工務店」  
 18:30～20:30  
 ◎懇親会  
 15日(金) 9:00～12:00  
 ◎分科会・サブテーマ「5つの新たな市場展開」の概要  
 午後～  
 ◎エクスカーション  
 日帰りコース/1泊コース  
 宮島・錦帯橋ほか  
 参加費:大会(式典・基調講演・分科会)+懇親会 1名15,000円  
 大会(式典・基調講演・分科会)のみ 1名10,000円  
 (懇親会のみ1名10,000円)  
 宿泊:会場グランドプリンスホテル広島HPに  
 JBN会員専用宿泊コーナーを開設予定  
 エクスカーション参加費:別料金

JBN協会員との懇談会開催

7月2日(火)東京、京橋にて。協会員112社に呼び掛けたところ、84社、55名が参加されました。  
 内容は、青木会長より「JBNの現況報告と展望。協会員に期待したいこと」。藤澤センター長より「広島大会、ジャパンホームショーに向けて」を説明。河井副会長、和田常任理事、深沢理事も参加して、意見を交換し、その後の懇親会では和やかな交流とともにJBNへの提言、助言、支援の言葉を多くいただきました。なお、当日のアンケートから主なものを紹介します。

・会員間の交流、共同事業など、積極的にJBN活動に取り組んでいきたい。  
 ・協会員同士の意見交換会を開催して欲しい。大会前に分科会、テーマごとに。  
 ・委員会等への協会の参加、傍聴を認めて欲しい。機会が少ない。  
 ・正会員と協会の間に情報格差がある。情報をもっとオープンにし、連携して知恵を絞りたい。



JBN協会員との懇談会開催(7月2日)

・正会員向けの販売促進活動をもっと積極的にやりたい。自分たちの能力を発揮させて欲しい。  
 ・展示会等での商品説明の機会をもっと設けて欲しい。大規模に出展し分かり易くしたい。  
 ・「工務店が建てる家」をもっと一般ユーザーにPRすべき。現状はJBNの認知度は低い。新規JBN会員を紹介したい。  
 ・センターレポートは情報量も多く、かつ端的で分かり易い。ホームページ、Mailとの連携も。

協会員新規募集のため説明会

7月8日(月)には、新規協会の募集のためのJBN事業説明会を実施。青木会長、河井副会長、深沢理事が出席。メーカー、サービスプロバイダーなど32社、37名の参加がありました。今回の案内で初めてJBNの存在を知ったという参加企業もあり、認知度は必ずしも高くはありませんでしたが、JBNの活動そのものへ関心が高く、新規入会を促す説明会となりました。JBNの活動に関心が高く、期待するものとして、販売促進、会員との交流、工務店調査、教育研修、地域交流などでした。今後も定期的にこれら説明会、交流会を開催していく予定です。

地域を活かし、地域を支える工務店の全国組織・JBNは、一般社団法人全国木造建設事業協会(全木協)の活動を支えるとともに新たに発足した全国木造住宅生産体制協議会ならびに都道府県木造住宅生産体制協議会などの関連機関との連絡、調整をはかりながら復興支援と地域活性化に努めてまいります。



活動報告

前月号以降の活動

○第0602回 理事会 7月9日(火) 14:00~18:30

出席者:理事16名(欠席1名)、監事2名、事務局2名  
開催場所:JBN会議室

**【あいさつ】**  
・青木会長  
前回は総会直前の書面理事会としたが、今後は定款に則って、組織の重要事項は理事会に諮り、決定することを原則としたい。そのため隔月の開催となるが、十分に意見を交換し、しっかりとした組織として運営していきたい。諸官庁をはじめ政党、関係機関からJBNが全国業界組織として認知され、期待もされるようになってきたので、それに応えるためにも組織と事務局の一層の拡充、整備に取組みたい。

・センター長  
創設以来5年が経ち、サポートセンターとして実績は各方面より良い評価を頂いている。全国組織として、会員支援に向けたサービス、情報提供をより充実させる必要がある。センターレポートとホームページによる情報の連携、一元化は重要であり、そのあり方について理事各位とも共有化をはかりたいものにしていく。

以下定款により、会長が議長を務め、審議事項優先の動議提案をうけ、議事進行に当たった。

【審議事項】

- 第1号議案 新規会員の入会について  
・協力会員として申請のあった4社(株)ジーテック・東洋テックス(株)・兼松日産農機(株)・東日本電信電話(株)を承認した。  
・社員会員として申請のあった日置尚文氏(日置建設株式会社)を承認した。  
なお、直接会員登録については、理事会承認を必要とし、協力会員については、事前に資料による審査手続きをとる。
- 第2号議案 賃貸住宅フェアへの出展について  
JBNとしての出展を承認。費用はいえもりの会から支出する。
- 第3号議案 委員会・分科会、理事会、常任理事会規定について  
・分科会規程(案)は、一部を修正し承認した、委員会規程については、今後整備することを前提に、現委員会の委員長への委嘱状を発令する。  
・理事会、常任理事会規定(案)は、承認した。  
なお、協力会員規定についても作成する。
- 第4号議案 理事役割分担について  
理事のブロック及びJBN組織図については、見直しを行う。  
事業担当に玉置理事、組織担当に矢野理事が異動する。

【報告事項】

- センターレポート(No.48)・HP関連  
HP更新については、6月11日常任理事会議決によるレポートとの連携、一元化を再確認し、センター長の指揮のもとでマーケティング委員会が見直しをとりまとめる。
- JBN委員会・WG報告
- 会員実数、住宅履歴登録数等
- 6月末の財務諸表について
- 理事会関連(開催日程・交通費支給について)  
理事会出席のための旅費を支給し、支給額については再度提示する。
- 広島大会について(技能大会・大会)  
技能大会の出場者資格については、大工育成WGに一任することとした。
- JBN連携団体事務局長会議開催結果について
- JBN連携団体の地域型住宅ブランド化事業取組状況について
- 全木協協定締結状況について  
現在までの協定締結11県、7月11日・東京都、7月16日・香川県と協定締結の予定。  
上記の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び出席監事が次に記名押印する。

次回 2013年9月17日(火) 14:30~

事務局ダイアリー・会長の動き (6-7月)

○事務局 ●委員会 △会長

17日(月)	○全木協北海道協会(札幌)
19日(水)	●次世代の会 △住協協総会
20日(木)	●国産材委員会・セミナー ●中古住宅流通WG △BL理事会 △番匠塾シニア会
21日(金)	○国産材委員会第一回研修会
24日(月)	○地域型住宅ブランド化事業提案申請提出(33件)
28日(金)	○国交省助成事業申請締切 ○センターレポート(48号)刊行 ○全国大会実行委員会(広島) ○連携団体設立打合せ(鹿児島)
2日(火)	○協力会員との懇談会(1面記事) △同左 △国交省木造住宅振興室
3日(水)	○国交省施工能力向上補助事業申請締切 △国交省住宅総合整備局
5日(金)	○省エネ講習会合同WG △デコス関東工場オープン祝賀会
8日(月)	○協力会員新規入会登録説明会 △同左
9日(火)	○JBN理事会 △同左
10日(水)	○大型木造研究委員会打ち合わせ会 △同上 △木住協地域協議会47都道府県事務局長会議 △国交省木造住宅振興室
11日(木)	○全木協・災害時応急仮設住宅建設協定締結(東京都)(2面トピックス記事) △同上 △木活協全国協議会・技能者育成WG
12日(金)	○全木協・災害時応急仮設住宅建設協定打合せ(岡山県)

委員会・WG報告

●活動報告 ○活動予定

次世代の会

- 第1304回 7月17日(水) 13:30~17:00  
会場:TKP東京駅前橋ビジネスセンター 参加者:35名  
1.NTT東日本説明会(フレッツ光のJBN会員サポート及び特典)  
2.講演「最先端リノベから中古流通の現状とヒントを学ぶ」  
大島彦彦氏(株)ブルースタジオ専務取締役)  
3.次世代ディスカッション第3弾「今年度補助事業の取り組み方」

●第1305回 8月21日(水)  
内容未定

大型木造研究委員会

- 7月10日(水) 10:00~12:00  
会場:JBN会議室 参加者:10名  
本年度委員会運営方針について(部材開発、講習会、広島大会、広報普及、マニュアル等)

○次回8月8日(木) 13:30~15:00 会場:JBN会議室  
研修会、マニュアルについて

既存改修委員会

○次回開催日は未定

マーケット委員会

●第1303回 7月17日(水)

- 会場:JBN会議室 参加者:13名  
1.電通スマートホームの打合せ  
2.開始時期、HP掲載内容

○第1304回 8月21日(水) 10:00~12:00  
内容未定

国産材委員会

- 第2回研修会 7月17日(水) 13:30~17:00  
会場:ホテルセンチュリー21広島 参加者:84名  
「広島での地域材利用・プロでも意外と知らない木の知識」林知行氏(元森林総合研究所研究コーディネーター)、広島県農林水産局林業振興部 木下仁部長

○第3回研修会 9月広島開催予定

環境委員会

●第1302回 7月31日(水) 14:00~18:00

- 会場:東京八重洲ホール  
各種報告、ゼロエネ住宅事例集作成、環境分科会について

中古住宅流通WG

●第1304回 7月18日(木) 10:00~12:00

- 会場:JBN会議室 参加者:7名  
・今後の活動ならびにアウトプットの方向性についての意見交換

○第1305回 8月22日(木) 10:00~12:00 会場:JBN会議室 予定  
・リニューアル仲介ヒアリング、委員の取り組み進捗報告

大工育成WG準備会

●第3回準備会 7月29日(月) 10:00~12:00

- ・第一回大工エキスパートJBNマスターズ大会概況・規程の方針確定  
・大工育成雇用ための整備条件

**委員会活動について**  
委員会の活動目的、成果目標をより明確にし、より効率的、効果的な体制、運営とするべく、規定類の整備を進めています。第0602回理事会決定に基づき既存委員会の委員長に委嘱状を発令し、これまでの活動成果も踏まえつつ、新しい体制を検討していくこととなります。(F)

トピックス

7月11日(木)、東京都庁に全木協と東京都との「災害時における木造の応急仮設住宅の建設に関する協定」締結式が行われた。全木協からは青木理事長、巻田副理事長をはじめ、全木協東京都協会の池田会長、JBN東京都の鈴木会長が、東京都からは都市整備局の飯尾局長、瀧本都営住宅経営部長、小野寺建設推進担当部長が出席した。



飯尾都市整備局長は「今回の全木協との協定締結は、東京都としても災害が発生した際の被災者救済に大きな力添えとなる」と挨拶。全木協青木理事長は、「地域工務店が木造仮設住宅を建設することは、地域経済復興にも役立つ。福島県での経験を活かし、役割を果たしたい」と述べた。この協定締結は全都道府県で12番目となる。

**訂正** 前(No.48)号、1面■■いもり・かるで登録累計数(2013年6月末日現在)は5月末日の誤りでした。訂正してお詫びします。

JBN(都道府県)の活動

地域工務店のソコヂカラ 第8回

JBN愛知県・鈴木貴雄会長(株)鈴起建設代表)に聞く 地域ネットワークの再生をめざして

名古屋城本丸御殿の復元プロジェクトが3期10年で進められている。第一期工事が完了し、この5月から玄関と表書院の一部が一般公開となった。この工事は地元1社を含む中堅ゼネコン4社JVが担当しているが、大工、左官など地域の専門職が多く携わっており、先代(父・清秋氏)の下で育った大工グループも応援に加わった。

先代が得意としたのは社寺、数寄屋建築で、現在も会社の営業種目の大きな柱だが、新築住宅をはじめS造、RC造の内装、リフォームまで幅広く手がけている。拠点を名古屋市内に置き、旧来からの作業場も持ち、大工の技能・技術がベースの工務店を営んでいる。先代から引き継いだ大きな財産は、腕のいい大工たちであり、彼らにはやりがいとそれに見合う収入を保証できるように努力してきたが、高い水準の大工技能を求める仕事が減ってきたのが悩みでもある。しかしながら、OB客からの改修、建替えでは技能に加え、マナーや人柄の点でも信頼される大工の配置に迫られ、15年ほど前から社員として育成、雇用することに踏み切った。そのために就業規則、給与算定基準、能力評価基準なども整備した。新卒者の募集、育てかたなどで苦労も多く、コスト的にも割りに合わないが、彼らの存在がこれからの大きな戦力、強みになると信じ、買ってきた手ごたえがようやく感じられるようになった。

JBN愛知県は、県内の愛知県建設組合連合会(全建連系)、愛知県建築組合連合会(全建総連系)、全愛知建設組合(全建

総連系)の三団体と本部を岐阜県に置く(一社)東海木造住宅協会(JBN系)で組織する(一社)愛知県建設団体連合会で、JBNの連携団体となっている。大きな組織だけに活動は散漫になりがちだ。地域型住宅ブランド化事業の提案でも、地域らしさをどう打ち出すか、そのネットワークのあり方についてもまとめるのに苦労があった。今年度は「いらかの家 愛知の住まい」と称する三州瓦が特徴の提案に落ち着いたが、オリジナルは地元の関連団体の過去の蓄積を再評価し、活用することになった。

在来木造住宅とは、地域の素材、人材、ノウハウによって培われ、発達してきたものであり、これらを改めて見直すことで活用できるものが少なくないことに気がついた。これまでに分画、分解されてきたさまざまなノウハウ、専門性と得意分野を地域のネットワークとして再構築できるのではないかと鈴木会長は考える。減少が危惧される大工などの人材育成も、これまでの職訓校をどう再生、活用できるかだが、そのためには母体が元気になるしかない。小規模に分画した営業力の再生も、例えば公共工事の木造建築の受注では、JVや協同事業など、連携のありかたを点検し、可能性を探ることだ。あわせて地域を意識した不動産、行政書士、司法書士、税理士などの関連業種とのネットワークの構築も目指したいという。(F)



大工育成に不可欠の手刻み工教室 松川戸昌福寺(施工)鈴起建設) 前回から、取材記事に切り替えました。

広島大会開催にむけて準備着々

JBN全国大会の地方開催は、今度の広島がはじめてです。全国からの大会参加者目標が600名というのもこれまでにない大きな規模の大会です。地元主催者の広島工務店協会では、本年2月から実行委員会を組織し、池田和好実行委員長(写真)のもと、五つの部会(総務会、式典部会、祝宴部会、分科会部会、技能競技会部会)で着々と準備がすすめられています。



広島大会実行委員会 池田委員長

大会テーマ「地域工務店の新たな市場展開」を旗じるしに式典、基調講演者、交流会、分科会の構成、大工エキスパートJBNマスターズ大会などの主要イベントの詳細が固まりつつあります。地元向けのパンフレット(本誌47号で紹介)につづき、全国の会員向けのパンフレットもこのほど作成されました。参加申込書と合わせて、会員各位の手許に配布いたします。合わせてキャラバン隊を編成し、各地連携団体を訪問し参加呼びかけを行うことにしています。お繰り合わせの上、ぜひともご参加下さい。

国産材委員会を中心に大会までの期間、分科会各テーマに関連するプレ分科会を開催し、機運を盛り上げていくことにしています。その第1回セミナーが、下記のとおり開催されました。

7月17日(水) 13:30~17:00

会場:ホテルセンチュリー21広島

参加者は、86名、注目度が高く、会員外からの参加も目立ちました。

第一講 「広島における地域材利用の方向性〜広島県の取組を中心〜」木下仁氏(広島県農林水産局林業振興部長)

第二講 「プロでも意外に知らない木の知識」林知行氏(元森林総合研究所研究コーディネーター)

それぞれ膨大な資料に基づいた分かりやすい内容の講演で、会場との質疑も活発に行われました。引き続き、8月24・25日には建築フェスティバル2013にJBN全国大会PRのブース出展、9月19日(木)には、中大規模木造建築セミナーが予定されています。



JBN全国大会in広島が開催される会場紹介

グランドプリンスホテル広島は、広島市内中心部から車で約15分の瀬戸内海国立公園にも囲まれた広島湾に面した元宇品公園に隣接するアーバンリゾートタイプの施設です。

大会メインの式典会場となるのはバンケットホール・瀬戸内で、この会場を中核に基調講演会、分科会、懇親会、大工エキスパートJBNマスターズ大会、展示スペースなどが開催されます。



瀬戸内海に面して建つグランドプリンスホテル広島 式典などの会場となるメインバンケットホール・瀬戸内

大工エキスパートJBNマスターズ大会、優先エントリーを開始

JBNが信条とする「日本の木で、日本の技で、日本の家」づくりを支える大工エキスパートが優れた技能と技術を磨き、競いあうことを通じて、これからの地域工務店の重要なスタッフとして、その育成と活躍を促すことを目的として開催されます。

競技会場は一般にも公開し、JBN工務店が雇用している大工技能の水準も含め、彼らの働き(技)によってつくられている木造住宅のレベル(納まり、仕上げの質など)を写真、動画なども展示し、業界全国組織として「ものづくり」、「ひとづくり」に取り組んでいることを社会に対し、広くアピールする機会とします。

競技は、新人部門とリーダー部門に分かれ、建築大工技能士の技能検定課題を基本に、プラス応用力を競います。優秀成績者には賞状及び副賞を授与し、合わせてその事業主に対しても顕彰し、育成と雇用の努力に報います。

優先エントリーは、この4月に実施しました「若手大工の育成・雇用に関するアンケート調査」で、正規社員として大工を雇用している」と回答された企業(有効回答数447社のうち、204社)に限定して、優先エントリーを開始しました。

優先エントリー期限、7月31日(水) 必着分まで

なお、本事業につきまとは、昨年度の国土交通省・木造住宅等の施工能力向上・継承事業の継続として、本年度も助成を受け、JBNサポートセンターが実施するものです。

事前研修、大会出場に関する費用につきましては助成されますが、練習等に要する費用などは各事業所の負担となります。また、応募資格にも制約がありますが、JBNが大工をはじめとする人材育成に対して国の支援を強く働きかけていくためのステップとして、ご理解と協力をお願いします。